Kansai Economic Insight Monthly

2016/6/24
Vol.38 May/June

・APIR "Kansai Economic Insight Monthly"は、関西経済とそれに関連する中国経済の動向に関する分析レポートです。

・レポート公開時期は毎月第 3 週金曜日を予定しています。

・執筆者は、稲田義久（甲南大学教授、APIR 数量経済分析センター長）、林万平・木下祐輔・James Brady・Cao Thi Khanh Nguyet（各 APIR 研究員）です。

・本編内の中国景気モニターは、APIR 中国経済分析のプロジェクトによるものであり、関西経済分析と連動して定期的に発信します。

・本レポートにおける「関西」は、原則として滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の 2 府 4 県です。統計出所を発表している省庁などが「近畿」としている場合も「関西」に統一しています。

目次

要旨	1
景気の現況	2
関空モニター	8
中国景気モニター	9
主要月次統計	13
Release Calendar	14

要 旨

-4月の関西経済の先行きは依然不透明-

✓ 4月の鉱工業生産指数は2カ月ぶりの前月比マイナス。前月の大幅増産の反動とみられる。結果、4月実績は1-3月平均比+1.1%の伸びとなっている。

✓ 5月の輸出は8カ月連続の前年比マイナス。輸入は9カ月連続の同マイナス。結果貿易収支は4カ月連続の黒字だが、黒字の持続については、不透明感が強い。

✓ 5月の消費者態度指数は2カ月ぶりに改善した。一方、景気ウォッチャー調査現状判断DIは2カ月ぶりの悪化。先行き判断DIも2カ月ぶりの小幅悪化。消費者マインドは停滞感が強い。

✓ 3月の関西2府4県の現金給与総額は2カ月連続の上昇。同月の「関西コア」指数は2カ月連続の上昇となったが、賃金の伸びは依然弱い状況が続く。

✓ 4月の大型小売店の販売額は2カ月連続の前年比マイナス。訪日外客による爆買いブームの落ち着きもあり、百貨店は4カ月連続でマイナスが続いている。

✓ 4月の新設住宅着工戸数は大幅増加し4カ月連続の前年比プラス。5月のマンション契約率は2カ月連続で70%台を下回った。

✓ 4月の有効求人倍率は3カ月連続の上昇。新規求人倍率も3カ月ぶりに上昇した。完全失業率は2カ月連続で悪化したものの、雇用情勢は引き続き好調。

✓ 5月の公共工事請負金額は4カ月ぶりの前年比マイナスも、季節調整値でみれば、4-5月平均は1-3月期に比して+34.2%と4期ぶりのプラスとなった。

✓ 5月の関空の訪日外客数は47万770人で先月の歴史的水準からは減少したものの、40カ月連続のプラス。一方、出国日本人数は22万7,910人と5カ月ぶりに減少した。

✓ 中国5月の製造業購買担当者景況指数(PMI)は50.1で前月から横ばい。また、4月のリコノミクス指数(APIR推計)の伸びは5カ月連続で小幅増加したものの、顕著な回復は依然として見られない。

【関西経済のトレンド】

	2015年								2016年				
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
生産	↘	↗	→	↘	↗	↗	↘	↘	↗	↘	↗	↘	
貿易	↗	↗	↗	↗	↗	↗	→	↗	→	↗	↗	↗	→
センチメント	↘	↗	↘	↘	↘	→	↘	↗	↘	↘	↘	↗	→
消費	↗	→	↗	↗	↗	↗	→	→	↗	↗	→	→	
住宅	↗	↗	→	→	→	↗	→	↘	↗	↗	↗	↗	
雇用	↗	→	↗	↗	↗	→	↗	↗	→	↗	↗	↗	
公共工事	↘	↗	↘	↘	↘	↘	→	→	↘	↗	↗	↗	→
中国	→	→	→	↘	→	→	→	↘	↘	↘	→	→	→

【鉱工業生産動向】

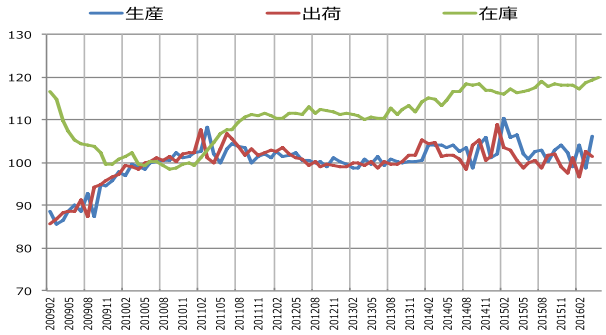
（1）関西の生産動向

2016 年 4 月の鉱工業指数(速報値：季節調整済, 2010 年=100)を見ると、生産は 103.4 で前月比-1.5%、出荷は 101.4 で同-0.1%といずれも 2 カ月ぶりの下落。在庫は 119.8 で同+0.5%と 3 カ月連続の増加となった。4 月の実質輸出は前月比プラスだったが、5 月は 2 カ月ぶりのマイナスに転じており、生産の先行きには注意が必要である。

業種別に生産指数をみると、電気機械(同-10.7%, 2 カ月ぶり)、金属製品(同-13.1%, 2 カ月ぶり)、化学(除. 医薬品)(同-6.4%, 3 カ月ぶり)等が減産となった。一方、電子部品・デバイス(同+12.1%, 3 カ月ぶり)、窯業・土石製品(同+3.2%, 3 カ月連続)、輸送機械(除. 航空機・鋼船・鉄道車両)(同+2.7%, 2 カ月連続)等が増産となった。

3 月の大幅増産の影響により、4 月は前月比マイナスとなったが、1-3 月平均比では+1.1%の伸びとなっている。

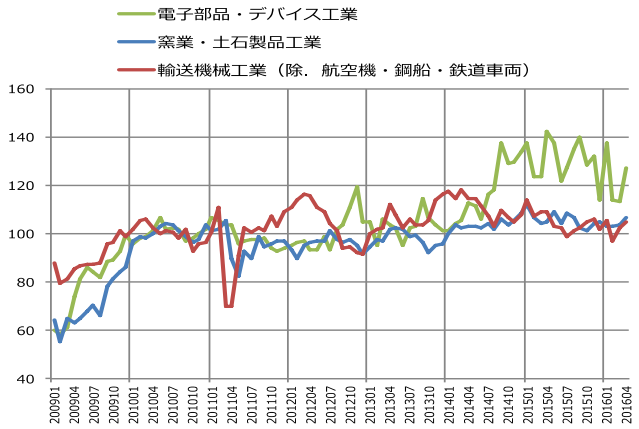
鉱工業指数の推移(関西：2016 年 4 月まで、2010 年=100)



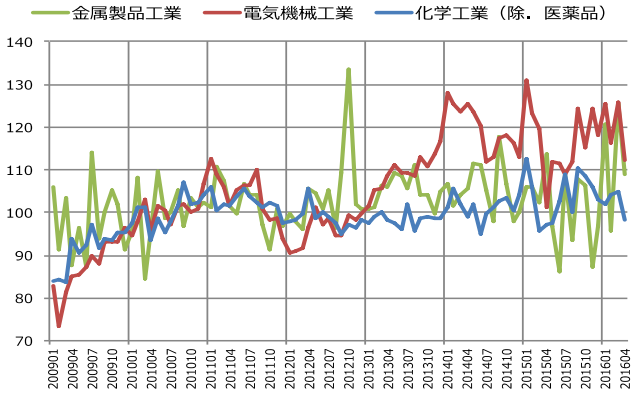
(注) 福井県を含む。

(出所) 近畿経済産業局「近畿経済の動向」

業種別生産指数の推移(関西：2016 年４月まで、平成 22 年=100)



業種別生産指数の推移（続き）



（注）福井県を含む。

（出所）近畿経済産業局「近畿経済の動向」

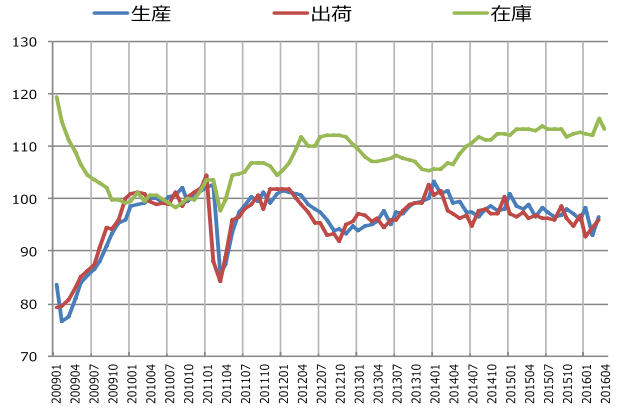
（２）全国の生産動向

全国における ４ 月の鉱工業指数（確報値：季節調整済, 2010年=100)を見ると、生産は97.2となり前月比+0.5%、出荷は96.0で同+1.6%といずれも２カ月連続の上昇。在庫は113.4で同-1.7%と２カ月ぶりの下落となった。

業種別にみると、食料品・たばこ(同+5.9%)、化学(同+2.1%)、電気機械(同+3.2%)等を中心に増産となった。一方、金属製品(同-6.0%)、輸送機械(同-0.3%)、情報通信機械(同-2.2%)は減産となった。

製造工業生産予測調査によれば、５月は同+2.2%の増産、６月は同+0.3%の小幅増産。５月の予測値は前月(同-2.3%)から上方修正となったが、６月の伸びは強くない。過去に予測値が下方修正されてきた傾向を考えれば、緩やかな増産が実現するか、楽観視できない。

鉱工業指数の推移（全国：2016 年４月まで、2010 年=100）



（出所）経済産業省「鉱工業指数」

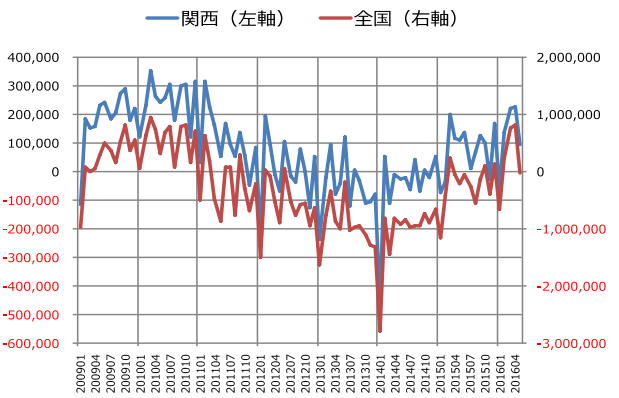
【貿易動向】

（１）純輸出

貿易概況(速報値)によれば、５ 月関西の貿易収支は+932億円と ４ カ月連続の黒字となり、貿易収支は前年同月比-13.3%縮小した。全国の貿易収支(速報値)は-407 億円と４カ月ぶりの赤字となったが、貿易収支は前年同月比-81.1%縮小した。

全国、関西とも、輸出入の前年比減少が続いており、結果として、関西の貿易収支は黒字が続いているが、全国は赤字に転じた。

関西・全国の貿易収支の推移：(百万円, 2016 年５月まで)



（出所）大阪税関調査統計課「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」

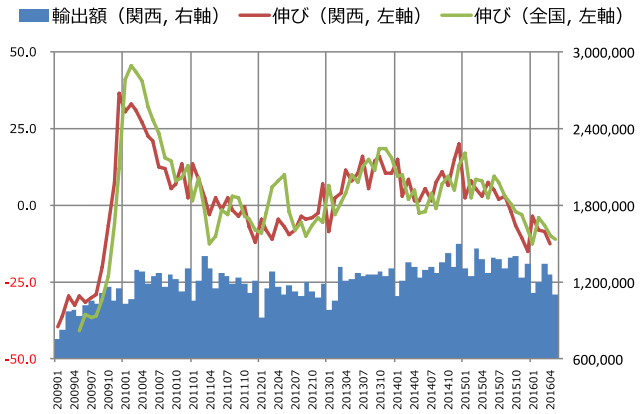
（2）輸出

関西 5 月の輸出額(速報値)は 1 兆 1,028 億円。前年同月比-12.8%減少し、8 カ月連続の減少。財別に見れば、半導体等電子部品、鉄鋼の輸出が減少した。

全国 5 月の輸出額(速報値)は 5 兆 910 億円、前年同月比-11.3%と 8 カ月連続の減少。財別に見れば、鉄鋼、半導体等電子部品、有機化合物の輸出が減少。

なお、同月の為替レート(税関長公示レートベース)は 108.97 円と前年同月比+8.8%の円高となった。4 カ月連続の円高が続いている。

関西・全国の輸出の推移(百万円, 前年同月比, 2016 年 5 月まで)



（出所）大阪税関調査統計課「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」

（3）輸入

関西 5 月の輸入額(速報値)は 1 兆 96 億円、伸びは前年同月比-12.7%と 9 カ月連続の減少。財別に見れば、半導体等製造装置、通信機が減少した。

全国 5 月の輸入額(速報値)は 5 兆 1,317 億円、前年同月比-13.8%と 17 カ月連続の減少。財別に見れば、原粗油、液化天然ガス、石油製品等の輸入が減少している。

資源価格は引き続き前年比大幅下落傾向にあり、結果、輸入額の伸びはマイナスが続いている。

（4）関西の地域別貿易

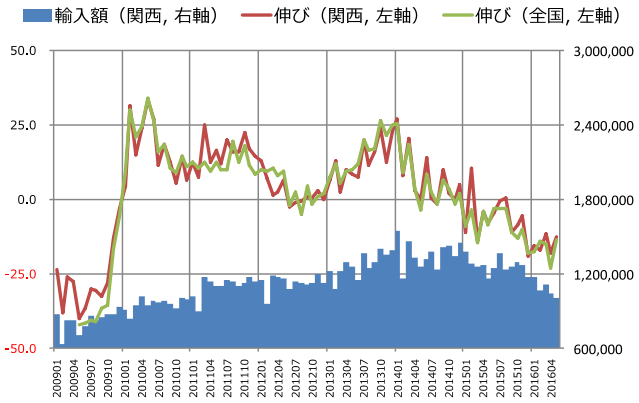
関西 5 月の貿易収支を地域別に見ると、対アジア貿易収支は+1,593 億円と 4 カ月連続の黒字だが、貿易収支は前年同月比-14.9%縮小した。輸出は 7 カ月連続の減少(同-12.4%)。財別に見れば、半導体等電子部品、科学光学機器等が減少した。一方、輸入は 9 カ月連続の減少(同-11.7%)。財別に見ると、通信機、半導体等電子部品等が減少した。

うち、対中貿易収支は-773 億円と 51 カ月連続の赤字であり、赤字幅は前年同月から拡大した(同+3.8%)。輸出は 3 カ月連続の減少(同-15.3%)。輸入は 2 カ月連続の減少(同-11.5%)となった。

対米貿易収支は+405 億円と黒字基調が続いているものの、黒字幅は 2 カ月連続で前年から縮小(同-28.5%)。うち、輸出は 7 カ月連続のマイナスとなり(同-16.0%)、2 カ月連続の 2 桁超の減少が続いている。財別に見れば、鉄鋼、重電機器等が減少した。輸入も 4 カ月連続の減少(同-9.4%)。財別に見れば、半導体等製造装置、有機化合物等が減少となった。

対 EU 貿易収支は-62 億円と 3 カ月ぶりの赤字となり、貿易収支は前年同月から 78 億円悪化した。輸出は 8 カ月連続の減少(同-12.7%)。財別に見れば、船舶、通信機等が減少した。輸入は 3 カ月連続の減少(同-6.7%)。財別に見れば、半導体等製造装置、たばこ等が減少となった。

関西・全国の輸入の推移(百万円, 前年同月比, 2016 年 5 月まで)



（出所）財務省「財務省貿易統計」

【消費者センチメント】

（1）消費者態度指数の動向

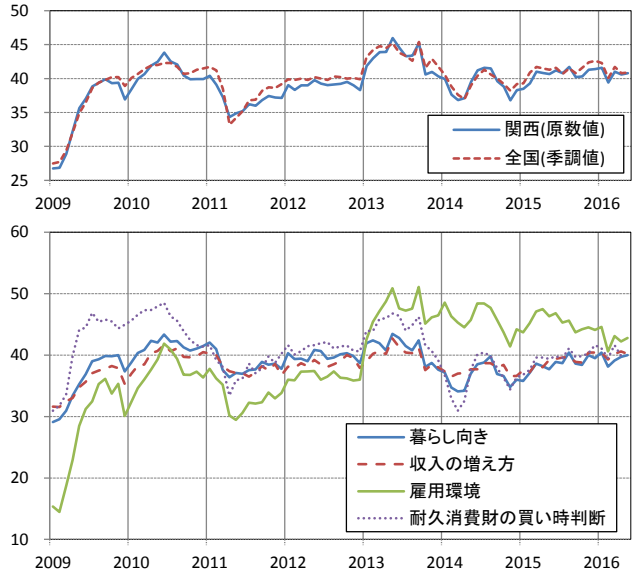
関西の 5 月の消費者態度指数(原数値)は前月比+0.2 ポイントの 40.8 で、2 カ月ぶりの改善。全国(季節調整値)でも

同+0.1 ポイントの 40.9 とこちらも 2 カ月ぶりの改善。株価が比較的安定して推移したことや、雇用環境の改善が背景にあるとみられる。

4 つの指標構成項目のうち全国では「収入の増え方」を除く 3 項目が前月から改善したが、内閣府は消費者心理の基調判断を「足踏みがみられる」として 3 カ月連続で据え置いた。また、九州・沖縄は 42.3 と前月比-0.1 ポイントの悪化にとどまっており、熊本地震が消費者心理に与える影響はそれほど大きくなかった可能性もある。

関西の同指数構成項目をみると、全国と同様、「収入の増え方」を除く 3 指標で改善がみられた。「雇用環境」は前月比+0.6 ポイント(2 カ月ぶり)、「暮らし向き」が同+0.3 ポイント(3 カ月連続)、「耐久消費財の買い時判断」が同+0.2 ポイント(2 カ月ぶり)、それぞれ改善した。一方、「収入の増え方」は同-0.4 ポイント(3 カ月ぶり)悪化した。消費者心理はほぼ横ばいで推移している。

消費者態度指数(2016 年 5 月まで)



(出所) 内閣府 「消費動向調査」

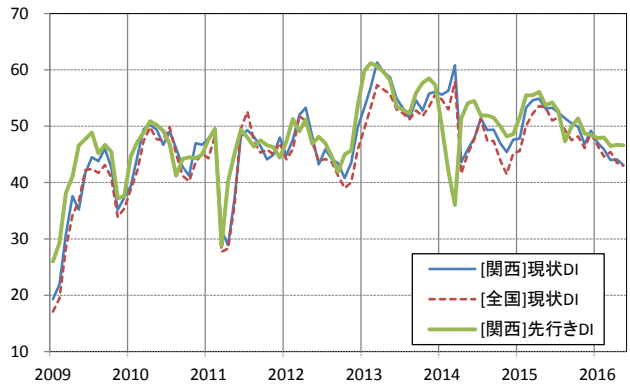
（2）景気ウォッチャー指数の動向

関西の 5 月の現状判断 DI は 43.1 となり前月比-1.0 ポイント低下し、2 カ月ぶりの悪化。景況感の良し悪しの分かれ目となる 50 を 8 カ月連続で下回った。全国では同-0.5 ポイント低下し 43.0 となり、2 カ月連続の悪化。2014 年 11 月(41.5)以来の低さとなった。

背景として、円高の進行や海外経済の減速、消費者の節約志向が強まっていることなどがある。関西では連休中だけでなく連休明け以降も消費が前年を下回る状況が続いており、特に百貨店の免税売上が前年割れとなり、インバウンド消費が鈍化していることなどが悪化に寄与したとみられる。

また、先行き判断 DI は、関西では 46.6 と前月比-0.1 ポイント小幅低下し、2 カ月ぶりの悪化。一方、全国は同+1.8 ポイント上昇し、4 カ月ぶりの改善。コメントを見ると、夏のボーナスへの期待が全国の先行きを押し上げた。一方、関西ではインバウンド消費や個人消費の鈍化を心配するコメントが多く、先行き悪化に寄与したとみられる。消費者マインドは停滞感が強い。

景気ウォッチャー調査(2016 年 5 月まで)



(出所) 内閣府「景気ウォッチャー調査」

【所得・個人消費・住宅】

（1）現金給与総額

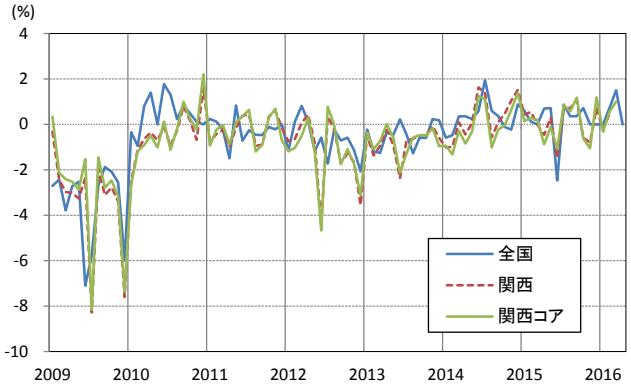
3 月の関西 2 府 4 県の現金給与総額(APIR 推計)は 27 万 4,570 円で前年同月比+1.2%となり、2 カ月連続の上昇。府県別では、滋賀県が同+5.8%(2 カ月連続)、京都府が同+2.0%(3 カ月ぶり)、奈良県が同+1.6%(2 カ月ぶり)、兵庫県が同+1.0%(2 カ月連続)、大阪府が同+0.8%上昇(2 カ月連続)。一方、和歌山県では同-3.0%(4 カ月連続)のマイナスとなった。

また、京都・大阪・兵庫の加重平均をとった速報性のあ

る「関西コア」賃金指数(APIR 推計)は 3 月に前年同月比+1.0%と 2 カ月連続の上昇。しかし、1-3 月期平均でみると前年同期比+0.4%と小幅上昇にとどまった。賃金の伸びは依然弱い状況が続いている。

全国(確報値)の現金給与総額をみると、4 月は前年同月比横ばいであった。内訳をみると、所定内給与は同横ばい、所定外給与は同+1.1%と 3 カ月連続のプラス。特別給与は同-1.7%と 4 カ月ぶりのマイナス。特別給与が速報値から減少に転じたことから、賃金総額の伸び率は下方修正された。また、現金給与総額から物価上昇分(帰属家賃を除く総合)を除いた実質賃金は同+0.4%と 3 カ月連続の上昇となった。

現金給与総額(前年同月比：%、2016 年 4 月まで)



(注) 関西・関西コア(京都、大阪、兵庫)は APIR 推計値。現金給与総額を当該常用労働者数(平成 23 年平均)で加重平均。
(出所) 厚生労働省「毎月勤労統計調査」

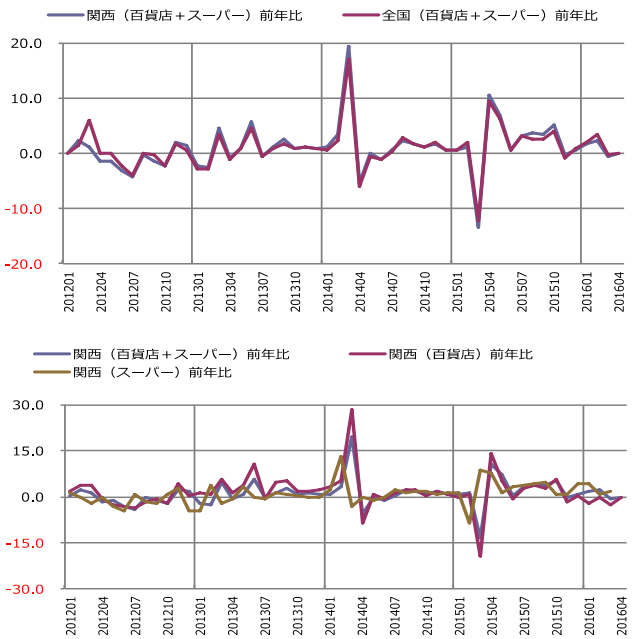
（2） 大型小売店販売額

関西 4 月の大型小売店(百貨店+スーパー)の販売額(全店ベース)は、前年同月比-0.3%の減少と 2 カ月連続のマイナス。百貨店は同-3.4%減少し 4 カ月連続のマイナス。スーパーは同+1.6%と 13 カ月連続のプラス。

全国 4 月の大型小売店販売額(全店ベース)は同-0.1%と 2 カ月連続のマイナスとなっている。

中国人観光客を始めとする爆買いブームが落ち着き(訪日外客は増加傾向にあるものの、支出額は減少している)をみせ始めたこともあり、スーパーとは対照的に、百貨店は前年比マイナスが続いている。

大型小売店販売額(前年同月比：%、2016 年 4 月まで)



(注) 福井県を含む。 (出所) 経済産業省「商業動態統計」

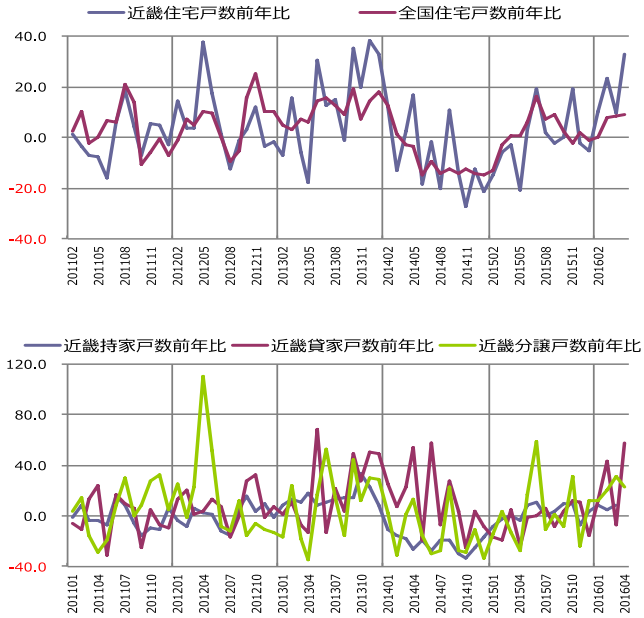
（3） 新設住宅着工の動向

関西 4 月の新設住宅着工戸数は 13,050 戸。前年同月比+32.9%と伸びは大幅プラスとなり、4 カ月連続の増加。全国は 82,398 戸と同+9.0%増加し、4 カ月連続のプラス。

関西の住宅着工を利用関係別にみると、持家は 2,884 戸。同+8.4%と 4 カ月連続のプラス。貸家は 6,073 戸、同+57.9%と大幅増加し、2 カ月ぶりのプラス。分譲は 4,086 戸、同+23.4%大幅増加し、5 カ月連続のプラス。

5 月の関西マンション契約率は 61.8%(季節調整値、APIR 推計)。好不調の目安となる 70%を 2 カ月連続で下回った。首都圏は 71.1%(季節調整値、APIR 推計)と、前月(66.0%)から上昇し、3 カ月ぶりに 70%を上回った。

新設住宅着工(前年同月比：%、2016 年４月まで)



(出所) 国土交通省「住宅着工統計」

【雇用動向】

（1） 求人倍率の動向

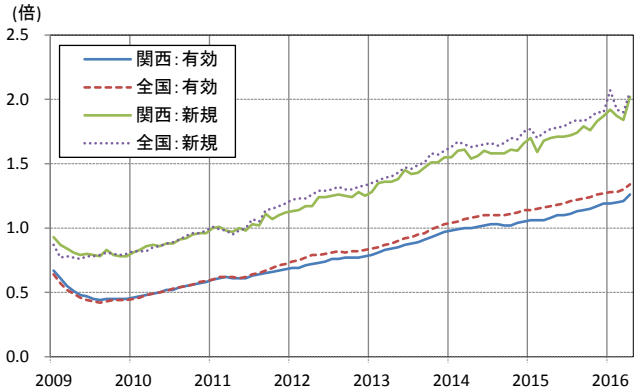
４月の関西の有効求人倍率は、1.26 倍で前月比+0.05 ポイントと３カ月連続の上昇。1974 年８月(1.26 倍)以来の高水準である。ただし、同月の求職者数が同-2.0%減少しており、求人倍率を押し上げている可能性もある。４月の全国は 1.34 倍で前月比+0.04 ポイント上昇。1991 年 11 月(1.34 倍)以来の高水準。雇用情勢は引き続き好調を維持している。

府県別では、全ての府県で上昇した。最も伸びが大きかったのが滋賀県で前月比+0.08 ポイント、次に大阪府で同+0.06 ポイント、奈良県・和歌山県で同+0.05 ポイント、京都府・兵庫県で同+0.04 ポイント上昇した。

４月の関西の新規求人倍率は、2.02 倍と前月比+0.18 ポイントと３カ月ぶりの上昇。関西で２倍を超えたのは 1991 年６月(2.00 倍)以来である。全国は 2.06 倍と同+0.16 ポイント上昇した。

４月の関西の産業別新規求人数をみると、宿泊業・飲食サービス業で 10 カ月連続の２桁増。学術研究・専門・技術サービスを除く全ての業種で増加していた。

求人倍率の推移（季節調整値、2016 年４月まで）



(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」

関西２府４県有効求人倍率(2016 年４月)

	全国	関西	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
４月	1.34	1.26	1.19	1.30	1.36	1.12	1.13	1.17
３月	1.30	1.21	1.11	1.26	1.30	1.08	1.08	1.12

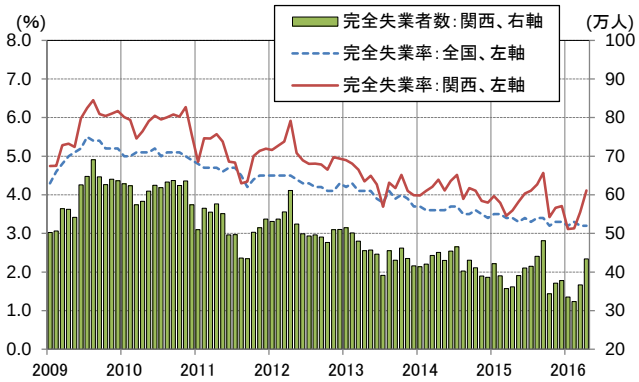
（2） 完全失業率の推移

４月の関西の完全失業率(季節調整値:APIR 推計)は4.1%で前月比+0.5%ポイント上昇し、２カ月連続の悪化。内訳をみると先月と比べて労働力人口が小幅増加した一方で、就業者数は減少しており、職探しが一服したとみられる。

関西の完全失業者数(季節調整値：APIR 推計)は 43.4 万人で前月から+6.7 万人増加。２カ月連続の悪化となった。全国の完全失業率(季節調整値)は 3.2%と前月比横ばい。

４月の全国の完全失業者数(季節調整値)は 211 万人で前月比横ばい。理由別にみると、新たに求職をした者が同-2 万人減少したものの、自発的な離職(自己都合)が３万人増加していた。

完全失業率の推移（季節調整値：2016 年４月まで）



(出所) 総務省「労働力調査」

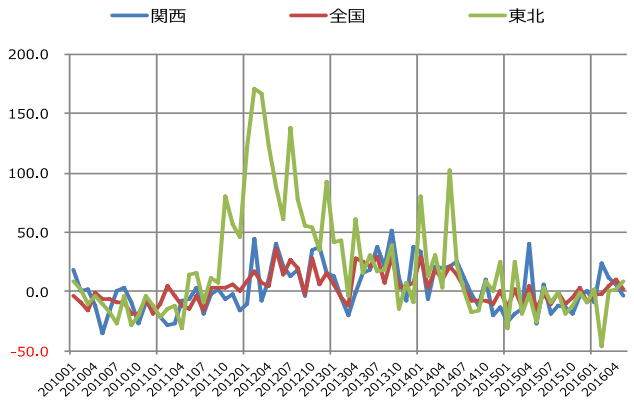
【公共投資】

（1）公共工事請負金額

関西 5 月の公共工事請負金額は 1,227 億円で前年同月比-3.8%と 4 カ月ぶりの減少。全国は 1 兆 1,453 億円で同+1.4%と 3 カ月連続の増加。東北は 2,278 億円で同+8.7%と 3 カ月連続のプラス。

季節調整値(APIR 推計)で見ると、関西は大幅減少し、4 カ月ぶりのマイナス。全国も大幅減少となり 2 カ月ぶりのマイナスとなった(関西：同-48.4%、全国：同-14.0%)。足下、季調値ベースでは前月比大幅な落ち込みが見られるが、これは公共事業の前倒し執行等により前月に大きな上昇が見られたためである。実際、4-5 月平均は 1-3 月期に比して+34.2%と 4 期ぶりのプラスとなっている。

公共工事請負金額(前年同月比：%、2016 年 5 月まで)

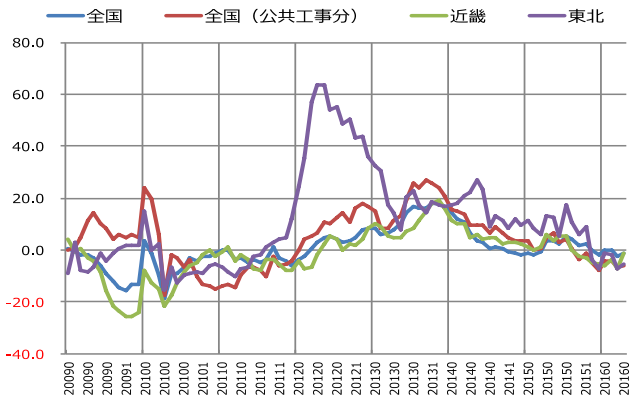


(出所) 東日本建設業保証株式会社「公共工事前払金保証統計」

（2）建設工事

関西 4 月の建設工事は 4,619 億円、前年同月比-1.3%と 8 カ月連続で減少した。東北は 4,806 億円、同-5.7%と 6 カ月連続の減少。結果、全国は 3 兆 5,892 億円となり、同-1.2%と 2 カ月連続の減少。うち、全国の公共工事は 1 兆 3,625 億円で同-5.8%と 8 カ月連続のマイナスとなった。全国、関西、東北の建設工事はいずれも停滞が続いている。

建設工事(前年同月比：%、2016 年 4 月まで)



(出所) 国土交通省「建設総合統計」

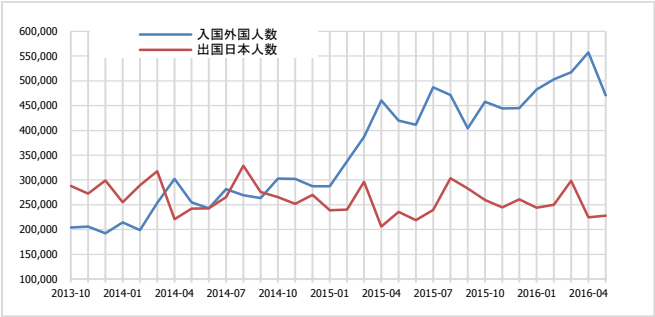
【関空モニター】

（1）訪日外客数トレンド

5 月の関空への訪日外客数は 47 万 770 人となり、先月の歴史的水準から減少したものの、前年同月比+12.2%と 40 カ月連続のプラスとなった。また、外国人旅客総合数(出入国含む)は 93 万 9,690 人(同+12.6%)となった。

一方、出国日本人数は 22 万 7,910 人で、伸びは同-3.3%となり、5 カ月ぶりのマイナスであった。

訪日外客数と出国日本人数(人，2016 年 5 月まで)



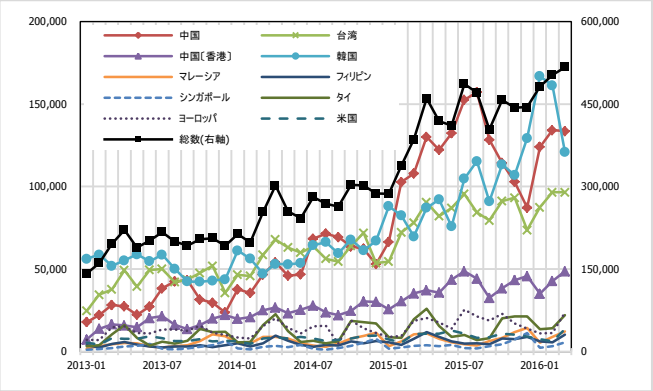
(出所) 一般財団法人関西空港調査会「KANSAI 空港レビュー」

（2）地域別訪日外客数

訪日外客数を地域別にみると、3 月は中国(香港を除く)からの入国者数が 13 万 3,632 人(前年同月比+23.8%)と最も多かった。次いで、韓国が 12 万 998 人(同+73.6%)であった。また、台湾からは 9 万 6,494 人(同+23.5%)、中国(香港)からは 4 万 8,606 人(同+37.9%)となった。

他のアジア各国からの入国者数は、タイが2万1,985人(同+67.9%)、マレーシアが1万2,200人(同+16.6%)、フィリピンが1万194人(同+33.0%)、シンガポールが5,498人(同+57.5%)となった。他地域を見ると、ヨーロッパが2万3,687人(同+28.3%)と18カ月連続のプラス。米国からは1万3,605人(同+27.5%)と3カ月連続のプラスであった。

地域別訪日外客数(2016年3月：人、右軸：総数、左軸：各国)



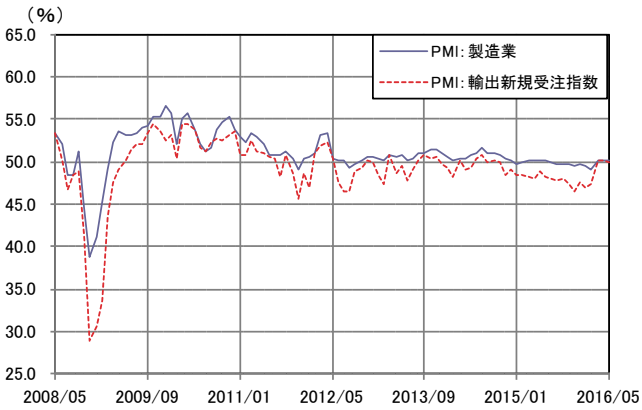
(出所) 法務省「出入国管理統計」

【中国景気モニター】

（1）センチメント

5月の製造業購買担当者景況指数(PMI)は50.1で、前月から横ばいとなった。また、非製造業購買担当者景況指数は53.1で、同-0.4ポイント下落した。2カ月連続の悪化。いずれも50ポイントを上回ったものの、依然として停滞が続いている。

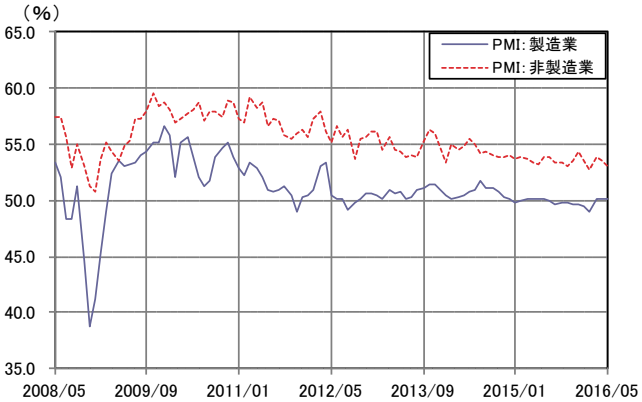
中国製造業購買担当者景況指数(2016年5月まで)



(出所) 中国国家統計局; CEICデータベース

製造業PMIのうち、生産指数は52.3で、前月比+0.1ポイント小幅上昇し、2カ月ぶりのプラス。新規受注指数は50.7で、同-0.3ポイント下落し、2カ月連続のマイナス。また、輸出新規受注指数は50.0で、同-0.1ポイント下落し、2カ月連続のマイナス。一方、雇用指数は48.2で、前月比+0.4ポイント上昇。2カ月ぶりのプラスとなった。

中国非製造業購買担当者景況指数(2016年5月まで)



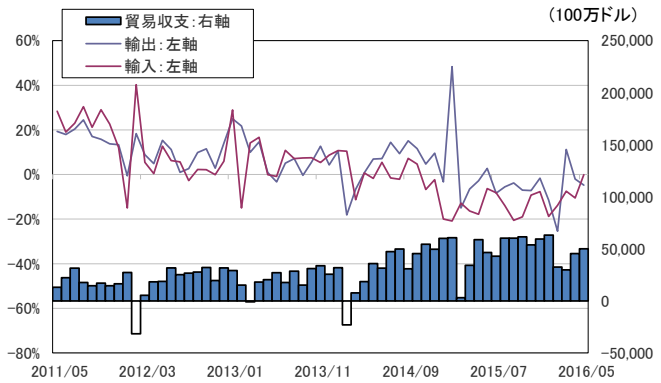
(出所) 中国国家統計局; CEICデータベース

（2）貿易動向

5月の貿易収支は+499.8億ドルとなった。27カ月連続の黒字だが、黒字幅は前年同月より88.9億ドル縮小した。うち、輸出額(速報値、ドル・ベース)は1,810.6億ドルとなり、前年同月比-4.7%減少し、2カ月連続のマイナス。輸入額は1,310.8億ドルとなり、同-0.1%小幅減少し、19カ月連続のマイナス。

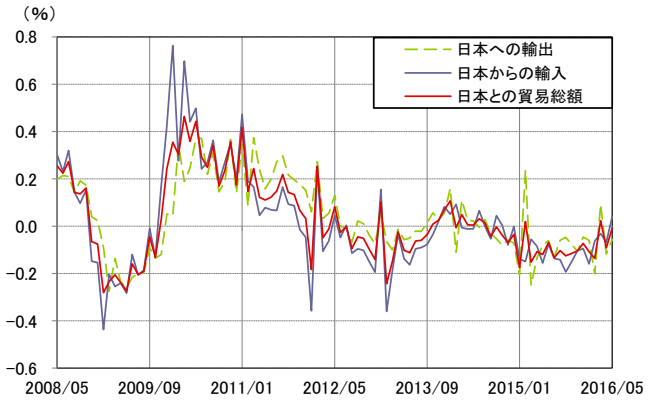
うち、対日貿易収支は-9.2億ドルとなり、4カ月連続の赤字となった。うち、対日輸出額は104億ドルとなり、同-5.6%減少し、2カ月連続のマイナス。一方、対日輸入額は113.2億ドルとなり、同+4.0%増加し、19カ月ぶりのプラスとなった。なお、円ベースでみると、対日輸出額は同-14.6%と、2カ月連続のマイナス。対日輸入額は同-6.0%と、9カ月連続マイナス。

中国の貿易動向 (前年同月比：ドル・ベース) (2016 年 5 月まで)



（出所）中国税関; CEIC データベース; APIR 計算

対日貿易 (前年同月比：円ベース) (2016 年 5 月まで)



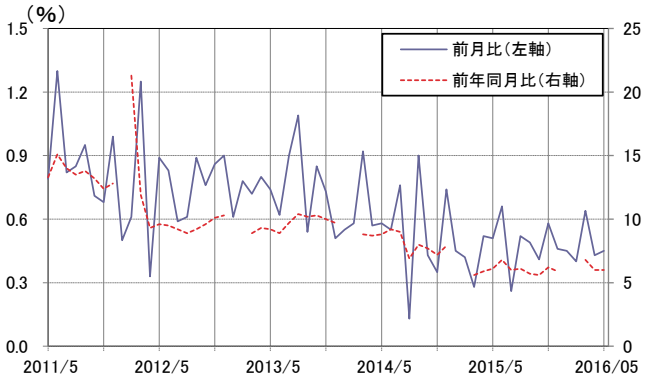
（出所）中国税関; CEIC データベース; APIR 計算

（3）工業生産

5 月の工業生産は前月比+0.45%となり、前月（+0.43%）から+0.02%ポイント上昇。前年同月比は+6.0%となり、伸びは前月から横ばい。

産業別に見ると、医薬製造業(同+12.2%)、自動車製造業(同+11.2%)、 有色金属圧延加工業(同+11.1%)、化学原料・製品製造業(同+11.1%)などが高い伸びを示す一方で、通用設備製造業(同+4.2%)、 電力・熱力生産・供給業(同+1.4%)等は比較的低調な伸びにとどまった。さらに、鉄鋼等の精錬・圧延加工業(同-2.1%)はマイナスとなった。

工業生産指数(2016 年 5 月まで)



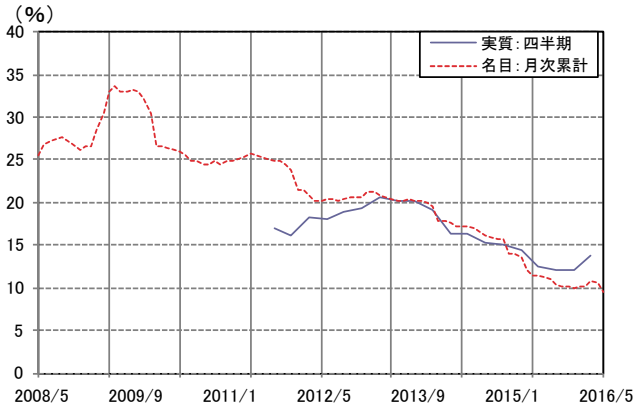
（出所）中国国家統計局; CEIC データベース

（4）固定資産投資

1-5 月期の(累積)固定資産投資(名目)は前年同月比+9.6%となり、伸びは 4 月(+10.5%)から-0.9%ポイント下落し、2 カ月連続のマイナス。依然として減速傾向が続いている。

産業別にみれば、第 1 次産業は前年同月比+20.6%、伸びは前月から-1.1%ポイント下落。第 2 次産業は同+5.8%となり、伸びは前月から-1.5%ポイント大幅下落。また、第 3 次産業は同+11.9%となり、伸びは前月から-0.5%ポイント下落した。

固定資産投資 (2016 年 5 月まで) (累積伸び率)



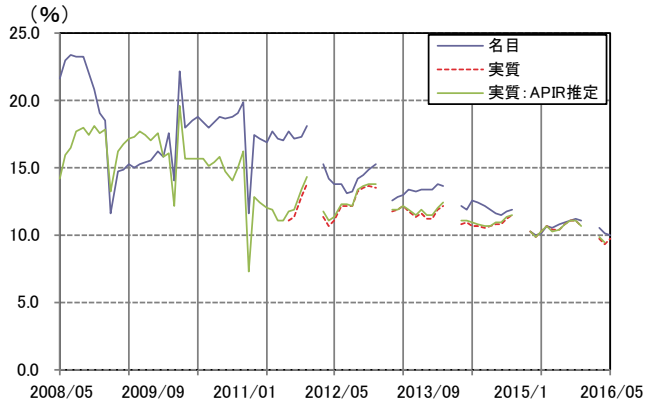
（出所）中国国家統計局; CEIC データベース

（5）消費

5 月の社会消費品小売総額(名目)は前年同月比+10.0%。伸びは前月から-0.1%ポイント小幅下落。昨年 4 月以降、回

復傾向にあったものの、2016 年 3 月以降、3 カ月連続で伸びは減速している。

社会消費品小売総額 (2016 年 5 月まで)



(注) APIR 値は小売価格指数を用いて計算した値

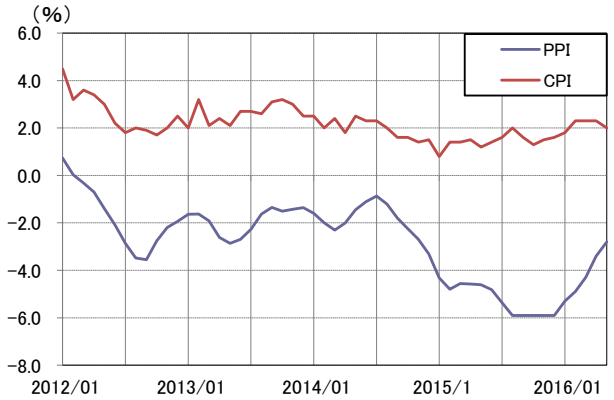
(出所) 中国国家統計局; CEIC データベース

（6）物価

5 月の生産者物価指数(PPI)は前年同月比-2.8%下落し、2012 年 3 月以降 51 カ月連続でマイナスが続いているものの、2016 年 1 月以降、5 カ月連続でマイナス幅が前月から縮小している。

5 月の消費者物価指数(CPI)は前年同月比+2.0%となり、緩やかな上昇が続いている。

生産者物価指数/消費者物価指数 (2016 年 5 月まで)

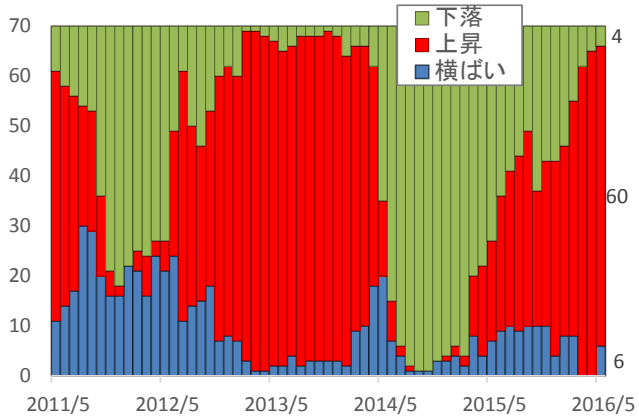


(出所) 中国国家統計局; CEIC データベース

（7）不動産市場

5 月の不動産市場は先月ほどではないが、好調である。不動産価格(新築住宅価格)を見ると、中国主要 70 都市のうち、60 都市で上昇。前月と比較すると、上昇した都市数が 5 都市減少した。下落したのは 4 都市となった。また、6 都市では前月と同水準を維持している。

新築住宅価格の主要都市集計 (2016 年 5 月まで：都市数)

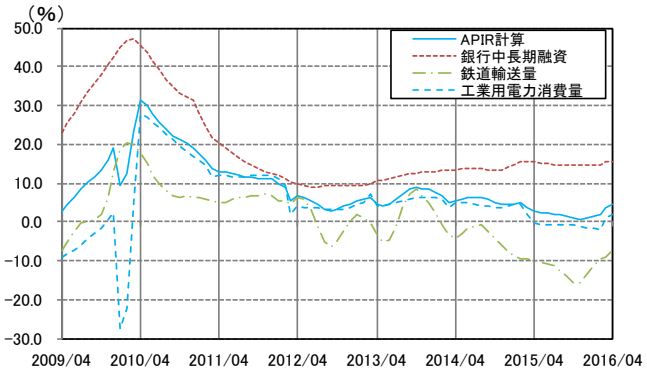


(出所) 中国国家統計局; CEIC データベース

（8）リコノミクス指数

4 月のリコノミクス指数(APIR 試算)は前年同月比+4.4%となった。内訳をみると、銀行中長期融資は同+15.4%と、伸びは前月から横ばい。工業用電力消費量は同+2.0%と、伸びは前月から+0.8%ポイント上昇した。また、鉄道輸送量は同-7.2%、伸びは前月から+1.8%ポイント改善した。リコノミクス指数の伸びは 5 カ月連続で小幅増加も、顕著な回復は依然として見られない。

APIR 試算のリコノミクス指数とその内訳(2016 年 4 月まで)



(出所) 中国国家統計局; CEIC データベース

Contact：林万平・木下祐輔・James Brady・Cao Thi Khanh Nguyet
Tel. 06-6485-7695,
E-mail. contact@apir.or.jp

【主要月次統計】

月次統計	15/5M	15/6M	15/7M	15/8M	15/9M	15/10M	15/11M	15/12M	16/1M	16/2M	16/3M	16/4M	16/5M
景況感													
[関西]景気ウォッチャー調査(現状DI、合計)	53.1	53.3	52.4	51.4	50.5	49.9	46.8	49.2	47.1	45.9	44.0	44.1	43.1
[関西]景気ウォッチャー調査(現状DI、家計)	53.4	53.6	51.2	50.4	50.8	49.5	44.2	45.7	46.8	44.4	42.4	40.7	41.9
[関西]景気ウォッチャー調査(先行き、合計)	53.7	54.2	52.6	47.3	49.9	51.4	48.7	48.5	47.9	48.0	46.5	46.7	46.6
[全国]景気ウォッチャー調査(現状DI、合計)	53.3	51.0	51.6	49.3	47.5	48.2	46.1	48.7	46.6	44.6	45.4	43.5	43.0
[全国]景気ウォッチャー調査(現状DI、家計)	53.6	50.4	50.8	48.8	47.0	48.1	44.4	47.7	45.6	43.2	44.3	42.2	41.9
[全国]景気ウォッチャー調査(先行き、合計)	54.5	53.5	51.9	48.2	49.1	49.1	48.2	48.2	49.5	48.2	46.7	45.5	47.3
消費者心理・小売り													
[関西]消費者態度指数(原数値)	40.7	41.2	40.8	41.7	40.2	40.3	41.3	41.4	41.6	39.4	41.0	40.6	40.8
[関西]〃暮らし向き(原数値)	37.7	38.9	38.7	40.4	38.6	38.4	40.0	39.5	40.4	38.1	39.1	39.7	40.0
[関西]〃収入の増え方(原数値)	39.2	39.4	39.6	39.7	38.9	38.8	40.4	40.4	40.4	39.3	40.2	40.6	40.2
[関西]〃雇用環境(原数値)	46.3	46.8	45.3	45.6	43.7	44.2	44.5	44.1	44.6	40.6	43.1	42.2	42.8
[関西]〃耐久消費財の買い時判断(原数値)	39.4	39.8	39.5	41.1	39.7	39.8	40.3	41.6	41.1	39.5	41.6	39.9	40.1
[全国]消費者態度指数(季節調整値)	41.4	41.7	40.3	41.7	40.6	41.5	42.6	42.7	42.5	40.1	41.7	40.8	40.9
[関西]大型小売店販売額(10億円)	324.8	315.4	337.8	315.4	297.9	316.4	326.9	412.5	332.9	290.0	318.1	303.1	UN
[関西]大型小売店販売額(前年同月比%、全店)	6.9	0.4	3.0	3.7	3.5	5.0	-0.3	0.6	1.6	2.3	-0.6	-0.3	UN
[全国]大型小売店販売額(10億円)	1,692.8	1,641.2	1,705.7	1,605.6	1,511.4	1,607.2	1,650.1	2,092.5	1,691.3	1,488.6	1,646.0	1,545.8	UN
[全国]大型小売店販売額(前年同月比%、全店)	6.3	0.6	3.2	2.6	2.6	4.0	-0.8	0.9	2.1	3.2	-0.2	-0.1	UN
住宅・建設													
[関西]新設住宅着工(戸数)	10,416	14,330	10,210	12,490	11,697	12,872	11,877	11,024	10,581	11,081	11,846	13,050	UN
[関西]新設住宅着工(前年同月比%)	3.2	19.2	1.7	-2.1	-0.1	19.0	-2.6	-5.2	10.2	23.1	9.4	32.9	UN
[全国]新設住宅着工(戸数)	71,720	88,118	78,263	80,255	77,872	77,153	79,697	75,452	67,815	72,831	75,744	82,398	UN
[全国]新設住宅着工(前年同月比%)	5.8	16.3	7.4	8.8	2.6	-2.5	1.7	-1.3	0.2	7.8	8.4	-1.3	-1.3
[関西]マンション契約率(季節調整値)	72.1	71.8	71.2	79.4	68.9	67.7	68.7	62.6	73.4	76.8	76.6	69.3	61.8
[関西]マンション契約率(原数値)	75.2	74.8	75.1	79.4	67.9	68.6	70.2	59.6	67.1	72.0	78.6	70.0	64.5
[全国]マンション契約率(季節調整値)	71.3	76.1	79.6	76.8	67.1	71.5	80.6	67.3	60.9	72.9	64.3	66.0	71.1
[全国]マンション契約率(原数値)	71.1	78.7	83.7	74.3	66.0	68.8	82.1	64.8	58.6	72.9	67.6	66.4	70.9
[関西]公共工事前払保証額(10億円)	127.6	200.4	134.6	103.2	128.6	123.0	85.4	97.3	64.4	80.0	125.9	279.6	122.7
[関西]公共工事前払保証額(前年同月比%)	-26.5	6.4	-18.2	-11.6	-13.4	-18.2	-3.9	0.1	-8.8	24.3	12.0	6.2	-3.8
[全国]公共工事前払保証額(10億円)	1,129.4	1,556.4	1,463.2	1,113.2	1,246.1	1,253.0	872.0	808.6	653.5	696.8	1,339.5	2,030.1	1,145.3
[全国]公共工事前払保証額(前年同月比%)	-14.0	-1.8	-10.1	-1.3	-10.9	-4.8	3.3	-9.6	-2.6	-2.2	5.0	10.6	1.4
[関西]建設工事(総合、10億円)	467.5	487.0	500.3	507.4	521.0	540.7	561.0	578.1	564.6	562.6	531.5	461.9	UN
[関西]建設工事(総合、前年同月比%)	3.8	5.4	5.2	0.2	-2.4	-2.8	-4.6	-5.2	-6.0	-3.7	-7.4	-1.3	UN
[全国]建設工事(総合、10億円)	3,549.4	3,727.0	3,934.5	4,195.9	4,402.8	4,642.3	4,712.0	4,732.5	4,611.1	4,520.7	4,423.7	3,589.2	UN
[全国]建設工事(総合、前年同月比%)	3.3	2.5	5.2	4.1	1.6	2.6	-0.1	-2.1	0.0	0.2	-2.1	-1.2	UN
[全国]建設工事(公共工事、10億円)	1,383.9	1,454.4	1,550.8	1,717.3	1,865.7	2,067.3	2,132.5	2,160.4	2,093.9	2,032.8	2,003.3	1,362.5	UN
[全国]建設工事(公共工事、前年同月比%)	6.4	3.1	4.4	0.8	-3.5	-1.5	-5.1	-7.8	-4.3	-4.4	-6.4	-5.8	UN
生産													
[関西]鉱工業生産(季節調整値、10年=100)	100.9	102.6	102.8	100.4	101.6	104.1	102.5	99.2	104.1	98.9	106.1	103.4	UN
[関西]鉱工業生産(季節調整値、前月比)	-1.2	1.7	0.2	-2.3	1.2	1.3	-1.5	-3.0	4.9	-5.0	7.3	-2.5	UN
[関西]〃出荷指数(原数値、前年同月比%)	-4.8	0.0	-0.4	0.1	1.0	-4.5	0.0	-3.6	-7.8	-2.1	-0.3	-1.8	UN
[関西]〃在庫指数(原数値、前年同月比%)	0.3	0.9	0.5	-0.3	0.2	0.9	0.0	1.1	1.4	1.1	1.8	2.2	UN
[関西]〃出荷指数(季節調整値、10年=100)	98.8	100.0	100.5	98.7	100.6	102.1	99.4	97.7	101.2	96.6	102.7	101.4	UN
[関西]〃出荷指数(季節調整値、前月比)	-1.9	1.2	0.5	-1.8	1.9	0.5	-2.6	-1.5	3.6	-4.5	6.3	-1.3	UN
[関西]〃在庫指数(季節調整値、10年=100)	116.9	117.6	119.0	118.0	118.4	118.1	118.6	118.1	117.4	118.7	119.2	119.8	UN
[関西]〃在庫指数(季節調整値、前月比)	0.2	0.6	1.2	-0.8	0.3	-0.4	0.4	-0.2	-0.6	1.1	0.4	0.5	UN
[全国]鉱工業生産(季節調整値、10年=100)	97.2	98.3	97.5	96.3	97.4	98.8	97.9	95.9	98.3	93.2	96.7	97.2	UN
[全国]鉱工業生産(季節調整値、前月比)	-2.1	1.1	-0.8	-1.2	1.1	1.4	-0.9	-1.2	2.5	-5.2	3.8	0.5	UN
[全国]〃出荷指数(原数値、前年同月比%)	-3.2	1.8	-0.4	0.6	-1.5	-0.8	0.0	-2.5	-5.4	-1.6	-0.7	-3.4	UN
[全国]〃在庫指数(原数値、前年同月比%)	3.9	4.0	-0.8	2.1	2.1	0.2	0.0	0.0	0.2	-0.9	1.8	0.1	UN
[全国]〃出荷指数(季節調整値、10年=100)	96.0	96.6	96.2	95.5	96.8	98.8	96.4	94.9	96.8	92.8	94.5	96.0	UN
[全国]〃出荷指数(季節調整値、前月比)	-1.9	0.6	-0.4	-0.7	1.4	2.1	-2.4	-1.4	2.0	-4.1	1.8	1.6	UN
[全国]〃在庫指数(季節調整値、10年=100)	112.9	114.6	113.7	114.0	113.6	111.4	111.9	112.7	112.4	112.2	115.4	113.4	UN
[全国]〃在庫指数(季節調整値、前月比)	-0.8	1.5	-0.8	0.3	-0.4	-1.9	0.4	0.4	-0.3	-0.2	2.9	-1.7	UN
労働													
[関西]現金給与総額(2府4県、前年同月比%)	0.3	-1.5	0.7	0.7	1.1	-0.6	-0.8	0.7	-0.2	0.5	1.2	UN	UN
[関西]現金給与総額(2府1県、前年同月比%)	-0.1	-1.1	0.9	0.6	1.2	-0.6	-1.1	1.2	-0.3	0.6	1.0	UN	UN
[全国]現金給与総額(前年同月比%)	0.7	-2.5	0.9	0.4	0.4	0.7	0.0	0.0	0.0	0.7	1.5	0.0	UN
[関西]完全失業率(季節調整値)	3.8	4.0	4.1	4.3	4.6	3.4	3.7	3.7	3.1	3.1	3.6	4.1	UN
[関西]完全失業率(原数値)	3.7	3.9	4.3	4.4	4.5	3.6	3.4	3.3	3.3	3.3	3.7	4.0	UN
[全国]完全失業率(季節調整値)	3.3	3.4	3.3	3.4	3.4	3.2	3.3	3.3	3.2	3.3	3.2	3.2	UN
[関西]新規求人倍率(季節調整値)	1.71	1.71	1.72	1.74	1.79	1.76	1.83	1.87	1.92	1.87	1.84	2.02	UN
[全国]新規求人倍率(季節調整値)	1.78	1.79	1.82	1.84	1.83	1.86	1.90	1.90	2.07	1.92	1.90	2.06	UN
[関西]有効求人倍率(季節調整値)	1.10	1.10	1.11	1.13	1.14	1.15	1.17	1.19	1.19	1.20	1.21	1.26	UN
[全国]有効求人倍率(季節調整値)	1.18	1.19	1.21	1.22	1.23	1.24	1.26	1.27	1.28	1.28	1.30	1.34	UN
国際貿易													
[関西]純輸出(10億円)	107.8	134.0	7.8	65.0	127.5	100.8	-29.3	167.5	-58.4	139.1	222.4	223.1	93.2
[関西]輸出(10億円)	1,264.3	1,383.4	1,374.6	1,299.4	1,386.8	1,398.2	1,237.0	1,338.7	1,110.0	1,199.9	1,337.1	1,261.0	1,102.8
[関西]輸出(前年同月比%)	2.7	7.3	4.9	2.0	2.8	-1.9	-6.5	-10.8	-14.9	-3.4	-8.4	-8.8	-12.8
[関西]輸入(10億円)	1,156.6	1,249.4	1,366.8	1,234.4	1,259.4	1,297.3	1,266.3	1,171.1	1,168.4	1,060.8	1,114.7	1,037.9	1,009.6
[関西]輸入(前年同月比%)	-8.1	-4.8	-0.5	0.4	-11.0	-8.8	-5.8	-19.3	-15.4	-17.1	-11.4	-18.1	-12.7

注：鉱工業生産 輸送機械工業は鋼船・鉄道車両除く。

Release Calendar for May/June

Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
30-May 商業動態調査 (4 月:速報値) 近畿鉱工業生産指数 (3 月確報) 中国製造業 PMI (6 月)	31-May 求人倍率(4 月) 完全失業率(4 月) 新設住宅着工(4 月) 全国鉱工業生産指数 (4 月:速報値)	1-Jun 中国製造業 PMI (6 月)	2-Jun 消費動向調査(5 月)	3-Jun 毎月勤労統計 (4 月:速報値)
6-Jun	7-Jun	8-Jun 景気ウォッチャー調査 (5 月) 中国輸出入 (5 月: 速報値)	9-Jun 近畿鉱工業生産指数 (4 月速報)	10-Jun 近畿貿易統計 (3 月確報) 近畿貿易統計 (4 月確速)
13-Jun 商業動態調査 (4 月:確報値) 中国固定資産投資 (5 月) 中国工業生産(5 月) 中国消費小売総額 (5 月)	14-Jun 全国鉱工業生産指数 (4 月:確報値)	15-Jun 公共工事前払保証額 統計(5 月)	16-Jun マンション契約率 (5 月)	17-Jun 建設総合統計(4 月)
20-Jun 全国貿易統計 (5 月:速報) 中国不動産市場 (5 月)	21-Jun 中国輸出入 (5 月: 確定値)	22-Jun 毎月勤労統計 (4 月:確報値)	23-Jun	24-Jun 近畿貿易統計 (5 月速報)
27-Jun 近畿鉱工業生産指数 (4 月確報)	28-Jun	29-Jun 商業動態調査 (5 月:速報値) 全国貿易統計 (5 月:確速)	30-Jun 全国鉱工業生産指数 (5 月:速報値) 新設住宅着工(5 月)	1-Jul 求人倍率(5 月) 完全失業率(5 月)